

質問 楽器寄附ふるさと納税は、使われなくなった楽器を、自治体を通じて学校や音楽団体等に寄附すると税金が控除される「ふるさと納税制度」を活用した新しいスタイルのふるさと納税である。返



大和 雅彦 議員（自民誠和会）

楽器寄附ふるさと納税制度の導入を



教育長 広く全般的に調査、研究していく

教育長 この制度は、楽器寄附ふるさと納税実行委員会が進めている事業で、参加登録料、サービス利用料、各種手数料として、年間数十万円の費用がかかる。教育委員会では、



部活動で使用しているトランペット

教育長 他市の温水プールの利用料助成や民間の施設開放を導入する考えはない。

吹奏楽部の楽器などの予算要望に対して学校へのヒアリングを通して精査し、予算要求をしていく。あわせて楽器の修理代も含めて、各種教材用の修繕料を毎年度計上している。ご提案の制度も含め、広く全般的に調査、研究していく。

香取 幸子 議員（自民誠和会）
「おひさまキッチン」の運営と課題について



町長 事業の趣旨を広く周知し、さまざまな支援を継続する

質問 朝食を通して多世代間交流を目的とした活動「おひさまキッチン」が定期的に行われている。子どもたちから好評で、参加者も増えているが、ボランティアが少なく、支援物資も不足している等の課題がある。持続可能な運営のため、
町長 これまでの取り組みの成果と課題。
町長 参加者からは「朝食を友達と食べられてありがたい」や、学校からは「子どもたちが元気に挨拶できるようになった」と好評。課題は、ボランティアが固定化しており、負担感があること。
町長 地域との連携やボランティアの役割、利用者の状況。



おひさまキッチン（三小）

下澤 章夫 議員（自民誠和会）

山崎新町長の政策目標実現に向けた取り組みを問う



町長 町政において

最も大切なものは「人」



質問 山崎町長は、町種計画や多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸を契機としたまちづくりなど、政策目標を提示された。今後、長期総合計画後期基本計画、住宅マスタープランや地域計画など町の重要な計画を策定していくが、多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸を契機としたまちづくり、立地適正化計画の推進、インフラ・公共施設の老朽化対策などの諸問題が山積している。これら多くの諸問題と整合性を図りながら、政策目標実現に向けてどのように取り組んでいくのか所見を問う。



登壇する山崎新町長

古宮 郁夫 議員（自民誠和会）

都道179号線（栗原地区）整備計画について



町長 調整を適宜行い、進めていく



都道179号線（栗原地区）の高架下

質問 都道179号線と八高線が交差する栗原地区の高架下は、危険箇所のままで時が止まっている。大型車両は、対向車との譲り合い通行により停止と発進を余儀なくされ、余計な騒音と振動は住民の生活を悩ませている。渋滞発生と大型車両の増加もある中、難工事が予想されるこの道路整備は、区画整理事業に含まれ、都の優先整備路線であるものの、進展への閉塞感が強い。都との役割分担と責任の所在確認も含め、具体的な取り組みを問う。
町長 JR八高線の高架下付近は、近年の通過車両の大型化、当該箇所の幅員減少に伴う円滑な通行の妨げなどに起因する、騒音・振動などが近隣住民の生活に影響を与えていることは承知している。課題解決のため、今後土地区画整理事業および事業を含む都道179号線の拡幅については、栗原地区準備会との連携を強化しながら、都やJR東日本などの関係機関と、役割分担や整備手法・時期などを含めた調整を適宜行い、進めていく所存である。